
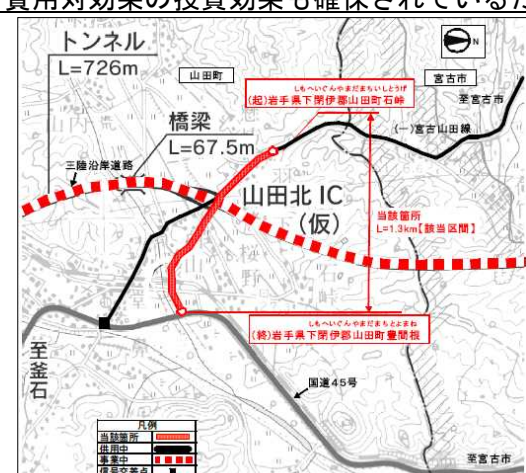


再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担当課： 環境安全課
担当課長名： 森山 誠二

事業名 一般県道 宮古山田線 <small>とよまね</small> 豊間根工区	事業区分 地方道	事業主体 岩手県
起終点 自：岩手県下閉伊郡山田町石 峠 <small>しもへいぐんやまだまちいしどうげ</small> 至：岩手県下閉伊郡山田町豊間根 <small>しもへいぐんやまだまちとよまね</small>		延長 1.3km
事業概要 一般県道宮古山田線は、地域住民の暮らしを支える生活道路であるほか、震災時には、津波により被災し不通となった一般国道45号の迂回路として機能するなど、地域間の交流・連携を支える重要な道路である。 本路線は、三陸沿岸道路「山田宮古道路」の（仮称）山田北ICのアクセス道路となっており、沿道の安全な交通の確保と、インターチェンジへの円滑なアクセスを図ることを目的とし、山田町石峠～同町豊間根までの延長1.3kmを整備するものである。		
H25年度事業化 全体事業費 27億円 事業進捗率 61% 供用済延長(本線) 0km		H25年度用地着手 H26年度工事着手
計画交通量 1,750台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 2.9	総費用 (残事業)/ (事業全体) 10/26億円 (事業費: 9/25億円) (維持管理費: 1/1億円) 総便益 (残事業)/ (事業全体) 28/28億円 (走行時間短縮便益: 23/23億円) (走行経費減少便益: 3/3億円) (交通事故減少便益: 2/2億円)
感度分析の結果 【全体事業費】 交通量変動: B/C=1.0~1.1 (交通量 ±10%) 事業費変動: B/C=1.0~1.1 (事業費 ±10%) 事業期間変動: B/C=1.0~1.1 (事業期間 ±20%) 【残事業】 B/C=2.8~2.9 (交通量 ±10%) B/C=2.6~3.2 (事業費 ±10%) B/C=2.7~3.0 (事業期間 ±20%)		
事業の効果等 ICアクセス性の向上 ・交通隘路の解消により、沿道の安全な交通の確保と、三陸沿岸道路「宮古山田道路」の（仮称）山田北ICへの円滑なアクセスが図られる。		
関係する地方公共団体等の意見 ・本事業及び関連する三陸沿岸道路の早期完成について、関係団体等（岩手県町村会ほか）から強い要望がある。		
事業評価監視委員会等の意見 ・岩手県政策評価委員会：平成28年9月27日答申「事業継続とした県の評価は妥当と認められる」		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・周辺環境に変化等はみられない。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・事業進捗率61%（うち用地進捗率91%）		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・事業の進捗に係る問題はない。平成30年度全線開通予定。		
施設の構造や工法の変更等 ・盛土材の流用やアスファルト舗装の磨耗層廃止、歩車道境界ブロック付側溝蓋の採用等により、コスト縮減に努めている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 ・事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。		
事業概要図		
		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。